

# 代官山MEDICAL 卒業生の勉強法 ⑩



## ●毛利悠汰君による日本医科大学の傾向と対策 —Part1—

日本医科大学3年 毛利悠汰君

Mathematics

### ■ 数学

日本医科の数学は英語と同様、300点満点となっています。大問構成も三題で時間も長めに与えられています。しかし過去問を見ても分かるように非常に難易度が高いです。実際合格者で日医に通っている生徒でも五割が限界のようで、大半は100点未満でした。自分は数学が苦手で、おそらく50点程度だったはずですが、しかし数学が得意な人でも全然解けていなくそれほど差が生じなかったようで、数学での30点程度の遅れは英語や小論、面接(共に各100点)で十分に取り返せました。得点を伸ばす方法としては難しい大問を丸投げするのではなく、(1)だけでも部分点を取りに行くなど必死にしがみついでください。また解ける問題は絶対に落としてはいけないので、難しい問題に挑戦するのではなく素直に復習すべきです。本試では数学で心が折れて帰ってしまう受験生がかなり多くいました。正直自分も帰ろうか真剣に悩みましたが、本当にあの時我慢して良かったと思います。きっと周りは思ったほど出来ていません。日医に限らず途中放棄ほどもったいない事はありません。絶対に絶対に絶対に最後まで頑張ってください。

### ■ 理科

理科に関しては三科目同様、英語や数学と比べそれほど難しくはありません。大学で周りの話を聞いてみても皆八割程度は取っていて、難しくはないと口を揃えていました。時間も十分に与えられているため、計算問題や考察問題に時間を費やせると思います。そのためにも理科三科目に関しては反射的に解けるようになることが望ましいです。対策としては他大同様に知識の整理整頓を徹底的に終え、知識問題に対し反射的に答えられるか確かめると良いでしょう。さらに考察問題や計算問題などで有名なものは解き慣れてそのまま知識として頭に入れてしまえばさらなる時間短縮に繋がるはずです。

生物の勉強として自分がやったのは資料集の丸暗記です。最後のページに書いてある索引に蛍光ペンでチェックして知識の最終確認をしました。また杏林などの過去問や【医学部への生物】などで空欄補充問題だけをピックアップして解き続けました。空欄の含まれた文章を自分の知識で予測することによって、そのまますらと読めれば理想的です。

化学も同様に過去問や【医学部への化学】を利用して知識問題を徹底的に解きました。知識問題を悩むのにかかる時間ほど無駄な時間はないので、自信を持って試験に臨めるようにしましょう。

Science